

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山産業フェア事業			310110	担当課	産業観光課	
	開始年度	平成19(2007)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料	182	頁	
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	-		
	施策名	既存産業を活性化する			根拠法令等	福知山産業フェア事業補助金交付要綱		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	商業・工業・農業等に関わる関係団体が一体となり、三段池公園体育館及び周辺で本格的な物産展を開催し、情報交換、交流などを通じて取引機会の拡大、異種業者との情報交換、交流産業育成と活性化を推進する。						
	対象者	市内事業所	対象者数	4,135	一人当たりコスト	0.23		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山産業フェア実行委員会						
	事業概要	「福知山産業フェア」は、企業・団体による製品の展示・技術PR・即売や農協・観光協会による地場産品・観光土産品販売、料理飲食業組合等による飲食グルメコーナー、各種イベント等が行われる。この大規模物産展の開催に対して補助金を支出するもの。 ※平成29年度は本事業の開催同日・同所にて衆議院総選挙が急遽開催されることとなったため本事業は中止された。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		負担金補助及び交付金		福知山産業フェア事業補助金			568	
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	3,800	3,800		
		補正予算等・・・②		0	△ 3,231	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		0	0	0		
		国支出金		0	0	1,900		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	569	1,900		
		特定財源名称(H29実績)					頁 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.05/0	0.05/0	/	
概算人件費・・・④		0	400	400				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	969	4,200			
執行状況	執行額・・・⑥		0	568				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	99.8%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		来場者数	人	-	-	/70,000	70,000	
		取引機会拡大に繋がった出展者	者	-	-	/150	150	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		出店企業数	者	-	-	/150	150	
		単位あたりコスト		0.0	0.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本事業のような規模の物産展は市内でも開催があまりなく、本市の産業振興にとって必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	本事業は、実行委員会形式であるが、その主管となっている福知山商工会議所は、本事業の開催実績もあり、多くの商工業関係団体との連携も強く、より多くの事業所出店が期待できるため、効率的である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	出展者数・来場者数も多く、大規模なイベントのため、異業種交流機会の創出が期待できる。成果目標については、出展者の取引機会を把握する必要があると考える。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成29年度は本事業の開催同日・同所にて衆議院総選挙が急遽開催されることとなったため本事業は中止された。	
	今後の課題及び方向性	出展者が本事業の参加を通しての取引機会の増加や満足度(異業種交流の有無など)をアンケートや追跡調査により実績値を把握する必要があると考える。 また、多くの当日来場者を獲得できるよう広報活動を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・市が行うことのメリットとして事業所間の交流による産業の底上げという回答があったが、市が主体でなくても同様の効果は期待できると思われる。民間に移行して自由度を上げたイベントとしていってもよいのではないかと。 ・補助金支出方法のあり方を見直していただきたい。(補助金支出要綱の見直し(補助率の設定)など) ・補助金を支出することにより、福知山市産業の育成や活性化に向けてどのような効果が得られたのか把握できるよう取り組んでいただきたい。 ・平成29年度福知山産業フェアが中止になっているものの一部補助金を支出している理由についてシートに記載されたほうが市民にわかりやすいのではないかと。 ・本事業の有効性について、関係機関と密な連携により数字の見える化に努めていただきたい。 ・市補助の支出については3,800千円の定額補助とせず、府補助、出店料等の増があれば予算通りではなく精査されたい ・補助金額に見合う効果が得られるよう、会議所と十分調整、協議して下さい。		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山市産業支援事業			310164	担当課	産業観光課			
	開始年度	平成29(2017)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費			決算附属資料	182	頁	
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	-				
	施策名	既存産業を活性化させる			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	新たな産業支援事業として起業を志す人や経営上の課題を抱える中小企業等のあらゆる問題の解決と売り上げ向上に向けたビジネスの挑戦を、これら事業者の目線に立って一緒になってチャレンジするための拠点として福知山産業支援センターを開設し、これを核とした地域の活性化に全力で取り組みます。								
	対象者	市内中小企業者		対象者数	4,135		一人当たりコスト	14.46		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 一般社団法人福知山産業支援機構								
	事業概要	上記事業目的を達成するべく、相談業務を中心とした支援を行う福知山産業支援センター「ドッコイセ！biz」においてあらゆる業種の事業所の相談に対応する。福知山産業支援センター「ドッコイセ！biz」の運営業務については、一般社団法人福知山産業支援機構へ業務委託をする。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		委託金		産業支援センター運営委託、ホームページ改修委託等				20,252		
備品購入費		産業支援センター備品				1,463				
旅費		産業支援センター開設に係る旅費等				582				
役務費		産業支援センター登録費用・電話代等				295				
需用費、使用料、公課費		需用費223、使用料及び賃借料84、公課費93				399				
関連事業										
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		0	30,744	30,794				
		補正予算等・・・②		0	△ 1,574	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		0	0	0				
		国支出金		0	12,692	14,978				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	16,478	15,816				
		特定財源名称 (H29実績)	地方創生推進交付金			9,276	国補助金	18	頁	
		地域振興基金繰入金			13,694	基金繰入金	36	頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	3.83/0	3.83/0					
	概算人件費・・・④		0	30,640	30,640					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	59,810	61,434					
執行状況	執行額・・・⑥		0	22,991						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	78.8%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		販路拡大や売上up等につな	件	/	/	/30	50			
		がった件数/年		/	/	/				
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		相談件数/月	件	/	91/30	/50	80			
		単位あたりコスト		0.0	252.6					
			/	/	/					
	単位あたりコスト		0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	事業所の売上UPに特化した相談を受け付ける組織はあまりないため、市内の産業振興にとっては必要性が高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	本事業の委託先である、一般社団法人福知山産業支援機構は、本事業を行うために市内商工団体により組織された法人であり、各関係機関との連携も密に取れるため、効率的に事業が行える。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	全国で実績を出している富士市産業支援センターをモデルにしているため、先行事例同様の成果が期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	相談件数について、当初の目標としていた30件/月を大きく上回る件数になっている。相談者の多くが、リピーターとして複数回利用していることから、相談者からの評価も良いと判断できる。 また、相談者の商品が大手百貨店で採用されるなどの実績も出ている。	
	今後の課題及び方向性	今後は、センターの認知度をあげることで、新規相談者を増やし成功事例を増やしていくことが必要である。 そのためにも、ホームページやSNS等で積極的に情報を発信していくことが重要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性相談件数増→女性の活躍に必要な支援の提供とあるが、具体的に市の支援などパンフ掲載などに広報しては</li> <li>・産業支援機構のネットワークを利用、活用した相談から課題解決につなげていくようにする必要あり (運営委託費が1人のマンパワーには高い(現行の人員体制からみて)、やれることに時間的制約があり、今のやり方では限界がくと思われる)</li> <li>・地方創生が切れてからの財源は？地方創生交付金がなくなることを想定して、財源確保を考えていただきたい</li> <li>・長田野からの相談はあるのか</li> <li>・福知山の産業支援のメニューなので、頑張ってもらいたい</li> <li>・目玉となる事例が必要(広報も含め)</li> <li>・中長期には市外の方に広げていくべき</li> <li>・情報収集、分析を行い、目的を達せられるように進められたい</li> </ul>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	友好交流物産展開催事業			310165	担当課	産業観光課			
	開始年度	平成29(2017)		終了予定年度	平成29(2017)		作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算付属資料		頁			
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	-				
	施策名	既存産業を活性化させる			根拠法令等	-				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本市と友好関係にある長崎県島原市、静岡県小山町、大分県豊後高田市、愛知県幸田町の特産品を福知山産業フェアにおいて展示販売を行い、友好都市の更なる交流を図る。								
	対象者	友好関係にある自治体		対象者数	4		一人当たりコスト	69.25		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 一般社団法人福知山産業支援機構								
	事業概要	福知山産業フェアのブースを一部借り上げ、友好関係にある各自治体のPRブースを設置し、友好交流物産展を開催する。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項 目		具 体 的 な 内 容					H29経費	
関連事業										
予算と執行の 状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算…①		0	277	0				
		補正予算等…②		0	0	0				
		繰越し等…③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		0	277	0				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	0	0				
		特定財源名称 (H29実績)							頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0/0	0/0	/			
概算人件費…④		0	0	0						
総事業費(①+②+③+④)…⑤			0	277	0					
執行状況	執行額…⑥		0	0						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		#DIV/0!	0.0%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標			
		出店自治体との交流		-	-	-				
	(出店自治体満足度)		/	/	/					
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標			
		友好自治体参加数	自治体	-	-	-				
		単位あたりコスト		0.0	0.0					
		回	/	/	/					
単位あたりコスト		0.0	0.0							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	×	市民ニーズも低く、必要性・優先度は低いと考える。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	×	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	今年度実施がなく、今後も実施予定がないため特にコメントなし
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	×	今年度実施がなく、今後も実施予定がないため特にコメントなし
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成29年度に入り、関係部署との協議の結果、従来から実施している「うまいもの展」での友好都市の特産販売ブースで実施することとなったため、本事業での実施は取りやめた。	
	今後の課題及び方向性	実施予定なし		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、関係都市からの要望があった場合でも、今ある事業内での友好交流の場を広げるとともに、市民や関係都市へのPRをしていく必要がある。</li> <li>・シートの修正を(単に実施しなかつただけでなく、いきさつや他の事業で実施するようになったなど)</li> <li>・対象者の表現を検討して下さい</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	ふるさと融資貸付事業			320310	担当課	産業観光課			
	開始年度	平成18(2006)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	大西 孝治		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算付属資料		頁			
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	-				
	施策名	既存産業を活性化する			根拠法令等	福知山市地域総合整備資金貸付要綱				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	新規立地企業の設備投資に対し、資金貸付けを実施しもって企業誘致の促進を図る。								
	対象者	企業	対象者数	0		一人当たりコスト	0.00			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 一般財団法人 地域総合整備財団								
	事業概要	・ふるさと融資貸付事業								
	主な経費と 具体的内容 (H28実績)	項目		具体的な内容					H29経費	
		ふるさと融資貸付け		民間企業への地域総合整備資金貸付					0	
関連事業	アネックス企業誘致一般管理事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		100,000	100,000	100,000				
		補正予算・・・②		△ 100,000	△ 100,000	0				
		繰越し等・・・③		0	0					
	財源内訳	一般財源		0	0	0				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	0	100,000				
		特定財源名称 (H29実績)	地域総合整備資金貸付事業債		0			頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.01/0.01	0.02/0.02	0.02/0.02				
概算人件費・・・④		105	210	210						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		105	210	100,210						
執行状況	執行額・・・⑥		0	0						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	0.0%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		貸付企業	企業	0 / 1	0 / 1	1 / 1				
				/	/	/				
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		貸付企業	企業	0 / 1	0 / 1	1 / 1				
			単位あたりコスト	0.0	0.0					
			/	/	/					
	単位あたりコスト									

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・企業誘致の促進に有効に活用されている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・当初予算計上により、民間企業の借受時期に対応することが可能である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・企業景気について将来測定は困難であり、融資先、融資額の見込みは未確定要素が大きい。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・企業誘致の促進のため、貸付事業を実施するが該当企業の把握は、不確定要素が多く困難を極める。そうした場合に当初予算を計上し、適切な時期に対応できる措置は必要である。	
	今後の課題及び方向性	・低金利の現況の社会情勢では、対象企業がでてくる機会も少ないと考えるが、経済情勢はめまぐるしく変化するため、臨機応変の対応体制は必要であるが、再度市の役割を検証する必要がある。 ・事業としては、他の団地と並べて比較された際に、インセンティブの一つとして表示してあることが重要であり、実際の利用有無は別として存続は必要と考える。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・無利子貸付の裏側で、金融機関からの借入を必須とするなど制約が多い <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 利用実績が上がらない理由の大きなひとつではないのか → 現状は「見せ玉」の効果しかない</li> </ul> </li> <li>・使われていない事業に毎年1億円の予算計上をしていることは、財政上からも少なからず問題あり <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 加えて、無利子ということで、市中金利分を補助しているのと同じ考え方であり、実負担としても少なくない <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 本当に新規立地のインセンティブとするなら、無利子貸付という形式にこだわらず、企業目線で使い勝手がよく、財政的にも持続可能な方策を検討すべき</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	長田野工業団地利活用増進計画策定事業			320316	担当課	産業観光課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	大西 孝治			
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 商工業振興費	決算附属資料	186	頁		
	施策の大綱	商工業の振興			関連計画等	-			
	施策名	既存産業を活性化する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地が引き続き「地域環境と共生」とともに、企業の生産活動の活発化、地方における人材の育成と確保などを推進し、「地域と企業、人が共生する工業団地」として、社会ニーズに柔軟に対応した価値観を創造し、「操業環境」や「就労環境」の整備、企業満足度の高いサービスの提供など、さらなる工業団地の利活用増進について検討し計画を策定する。							
	対象者	長田野工業団地立地企業従業員	対象者数	6,395	一人当たりコスト	0.90			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 一般財団法人 地域総合整備財団							
	事業概要	分譲開始から40年以上を経過する長田野工業団地において、社会情勢の変化を踏まえ、今後の企業の生産活動に寄与する環境整備を検討し、団地再生基本計画を策定する。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		委託料		長田野工業団地利活用増進計画策定業務委託			2,998		
関連事業	アネックス企業誘致一般管理事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		0	3,030	0			
		補正予算・・・②		0	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		0	1,530	0			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	1,500	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)	みらい戦略一括交付金			1,499	府支出金	26	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.34/0	0/0			
概算人件費・・・④		0	2,720	0					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	5,750	0				
執行状況	執行額・・・⑥		0	2,998					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	98.9%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		計画策定数	件	-	1 / 1				
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		制定に係る各種会議開催数	回	-	9 / 9				
		単位あたりコスト		-	333.1				
		業務委託件数	件	/	1 / 1	/			
単位あたりコスト		-	2,998.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・企業誘致の促進に有効に活用されている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・当初予算計上により、民間企業の借受時期に対応することが可能である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・企業景気について将来測定は困難であり、融資先、融資額の見込みは未確定要素が大きい。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成30年5月に長田野工業団地利活用増進計画を策定することが出来た。	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定した長田野工業団地利活用増進計画に掲げる各事業を計画的に確実に実施していく必要がある。</li> <li>・関係各部署の部長級・課長級による推進会議を立ち上げ、増進計画を前に進める施策の展開を図る。</li> <li>・3年後に事業の評価・見直しを行い事業を継続的に実施していく。</li> </ul>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利活用増進と言いながら、中長期的な立地戦略、付加価値向上戦略には全く触れられておらず、周辺整備等のできることを積み上げただけ <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 本来求められる計画とは似て非なるもの <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 目先の誘致活動ではなく、めざすところを明確にし、共有して事に当たるべき</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		